

取組内容	実施プログラム【1】 特色あるまちづくり事業の推進
関係課	各区役所総務企画課、まちづくり推進課、区政推進課

<点検結果の総括>

実施プログラムの取組状況について点検を行ったところ、「特色あるまちづくり」に向けて、まちづくりの担い手を今後どのように育て拡充していくか、区ごとの特色の出し方、地域の人々や団体との連携のあり方など様々な課題について議論がなされるとともに、区の職員がこれまで以上に区という意識を持って事業を推進することや、区の住民の区民意識の醸成、また、予算の継続的な確保や柔軟な活用についても配慮が必要との意見が出された。現在の取組状況としては概ね良好とされ、今回の意見を踏まえ、今後も改善・改良を重ね推進していくことが必要との点検結果となった。

<委員からの意見>

- ・まちづくりの担い手を育成するために、各地で活動している任意団体へもまちづくり推進経費を適用できるよう補助対象を広げてはどうか。また、総合型スポーツクラブなど既存の地域団体へ、更に活動が活発になるよう手厚く助成していくことも必要ではないか。
- ・区民主導のまちづくりを、行政が積極的に誘導していくような取組が必要だと考える。
- ・自治会や総合型スポーツクラブ、子育てサークルなど、地域の様々な資源や人材を掘り起こし、ネットワークを構築していくことが重要である。
- ・地域の人材によって総合型スポーツクラブ等の地域団体が運営されることで、地域のネットワークが広がり、更に若い世代との交流・活動を通じて、高齢者の健康寿命の増進や次世代を担う子どもたちの健全育成にもつながるのではないか。
- ・区民との対話を重ねながら、少しずつまちを作っていくことが大切ではないか。
- ・区の特色を出していくためには、その区でしかできないことに取り組んでいかなければならない。
- ・区の優れた取組をモデル事業に指定し、全市で情報共有や意識啓発ができる仕組みがあればよいのではないか。
- ・区民としての意識が薄く、区役所の行う取組に対して距離感を感じる。区民意識の醸成のために、更なる取組を進めていただきたい。
- ・地方活性化のためには、住民が元気で子どもが増えていく必要があり、高齢化や少子化に着目した取組をもっと積極的に取り入れていくべきである。
- ・今後結婚・出産をする大学生などの若い世代が、もっと行政に関わる機会が増える取組を行う必要がある。
- ・実情を知るためにも、行政側から住民の声を拾いに行くようなシステムの構築や区民との距離をつめる取組を行うなど、広報や評価という面で改善していく必要がある。
- ・各区それぞれの特色を生かして事業に取り組んでいるが、まだまだ区民に伝わっていないと感じる。
- ・まちづくり事業の取組があること自体を知らない人もいるのではないか。
- ・市政だよりにおいて、各区がそれぞれの取組を掲載しており、各区の特色は出ている一方で市全体の方角性や考え方が分かりづらい。
- ・予算については活用の仕方が大事である。職員としてどのように活用するか知恵を絞っていただきたい。
- ・成果指標の「区役所のまちづくり活動を身近に感じる市民の割合」について、区役所の取組イコール職員だと考えるので、職員を身近に感じる状況を作っていってほしい。